

令和2年度事業報告書
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

1 法人の概要

名称 学校法人 松江幼稚園 (昭和56年4月1日法人設立)
理事長 額田 光昌
住所 和歌山市松江中3丁目1番35号
電話 073-453-0050 FAX 073-453-0099
設置校 まつえ幼稚園 (昭和24年10月1日創立)
役員 理事 12名、監事 2名 評議員 25名
理事会 4回開催 評議員会 4回開催
職員数 園長 1名
教頭 1名
主幹保育教諭 2名
学年主任 3名 教諭 17名 (内準正職6名) *育休1名
パート教諭 17名 添乗員 4名
事務長 1名
事務員 3名
委託職員 運転手 4名 調理員 5名 用務員 2人

2 事業の概要

(1) 教育方針

本園は、子ども一人ひとりを見つめ、発達段階に応じて、子どもの主体的な活動を促し、自発的な遊び活動を通して、知・徳・体の調和のとれた保育により、生きる力を身につけた子どもの育成をめざします。

(2) 事業内容

- ① 教育事業1号認定 (年長・中・少・満3歳) 教育時間9:00～15:00
- ② 保育事業2号認定 (年長・中・少) } 保育時間7:30～18:30 (標準)
- 3号認定 (1歳児・2歳児) } 8:00～16:00 (短時間)
- ③ 預かり保育・延長保育
 - 1号 早朝 7:30～ 8:40
 - 保育終了後 15:00～17:30
 - 延長 17:30～18:30
 - 2・3号 (短時間) 早朝 7:30～ 8:00
 - 延長 16:00～18:30

(3) 事業報告

令和2年度から幼保連携型認定こども園となり、初めてのこともあって予期しない事が多々あり、保護者からの質問で園長、職員でその都度話し合いをし、決定していきました。

新たなスタートを切った大きな変化の年でした。とはいえ、今までと同じ子ども主体の教育方針は変わらず、かつ幼稚園と保育園の両方の機能を併せ持ったことで、より保護者の要望に応えられる教育環

境になったのではないかと感じています。

又、新型コロナウイルス感染症の影響は1年以上にも及び行事等で密にならないよう、縮小したり分散したりしながら園児参加の行事は中止せずに実施しました。

感染防止には細心の注意を払いました。園児の検温、消毒の徹底を図るとともに教室、通園バスの消毒や、保育室の換気に気を配り、職員は子ども達のために危機管理に努めてきました。

(4) 在園児数

令和2年度定員及び在園児数

	定 員 (人)		在 園 (人)	
	1号	2・3号	園児数	クラス数(クラス)
年 長	100	20	102	4
年 中	100	20	107	4
年 少	100	20	109	4
満3歳児	20		20	2
2歳児		16	16	1
1歳児		12	12	1
0歳児		6	3	1

(5) 保育の計画性・保育の在り方

しつけの3大原則「挨拶をする」「履物をそろえる」「ハイとはっきり返事」が大切だと考えています。子どもたちが、いろいろな行事・遊び・生活体験を積み重ね生涯にわたる人間形成の基礎を培い、自立し、他者と協働しながら、創造的に生きていくために必要な能力が身につくよう指導と援助を行い保育しています。

(6) 教員の資質向上

幼児に寄り添う人的環境として、良質な教諭が安定して長期に関われる体制を作ることが重要である。そのために自己の教育のあり方について毎学期自己評価を行い、日々研鑽して質の向上を図っている。また、様々な研修を行い5領域に分けて研究し、毎学期発表している。

5領域の各部会の研究テーマ		
	領域名	研究テーマ
1	健康	子ども達の体幹を鍛えることで、感覚や運動遊びの様子がどう変化していくかを追う
2	人間関係	人と関わることで子どもにどのような成長が見られるか追う
3	環境	生活の中で数量や図形、標識、文字などに興味を持てるような環境を与えることで子どもたちが自ら試そうとする力がどのように育っていくのかを追う
4	言葉	生活に必要な言葉が分かり、使えるようになることで子どもたちがどのように変化していくかを追う
5	表現	素材に出会った子ども達が気付いたり感じたりしたことをどのように表現し、遊びに取り入れていくかを追う

(7) 地域との連携

- ・幼稚園や家庭を包む地域は、子どもが異なる世代の人々と交流し、様々な体験や遊びを通して協調性や生活の知恵を学ぶことにより、社会性や豊かな人間性を育む場として大きな影響力を持って

います。幼稚園、家庭、地域が連携協力しながら地域社会全体で子どもの育ちを支えていく必要があります。しかし2年度はコロナ禍のため、いろんな交流をすることができませんでした。

- ・高齢者との交流・・・思いやり等「道徳心」を養う幼児教育実践のため高齢者の方々と交流しているが2年度は中止となりました。
- ・小学校との交流・・・地域の小学校訪問で、なわとびの大技を見て「すごすぎる」と憧れの眼差しで驚いていました。四重跳びで刺激を受け、帰ってから二重跳びの練習をする子がいました。一度であったが小学校に行く事ができてよかったです。
- ・地域との交流・・・地域の避難訓練や様々な活動に幼稚園として積極的に参画し、社会教育との連携を深める。

独居高齢者のふれあい会やまつえ地区夏まつり、事前音楽会、地域の方と一緒にやって行う避難訓練等、すべて中止となり残念です。

地域の方々のご厚意によりさつまいも、大根を植えていただきました。

いつも立派なさつまいもや大根が出来、子ども達も大喜びで収穫しました。しかし主になっていた上野先生が高齢の為、今回でやめられるとの事です。他の手伝っていた方々もやめられます。長い間ありがとうございました。

(8) 安全管理

- ・津波避難訓練を初めて行いました。当園は海拔3mですので2Fの遊戯室(7.15m)に避難しました。河西コミュニティーセンターに行く訓練も必要と思いました。
- ・地震、火事等の避難訓練(予告あり、予告なし)を計画的に実施するとともに、日頃からバスからの避難訓練、早朝預かり保育や保育後の預かり保育での避難訓練、引き渡し訓練を実施し、災害時には教職員の指示を聞き適切な行動が素早くとれるような様々なパターンで避難訓練を実施している。また、年1回消防署からも来ていただき、白煙をたいて本番さながらの避難訓練もしていますが中止になりました。
- ・AEDもいざという時に誰でも使用できるように使い方の勉強をしています。
- ・教員やバス添乗員も非常ブザーを腰に携帯していて月1回電池切れしていないか点検しています。
- ・犯罪から子どもたちや職員等の命を守るため、ボタンを押すだけで警察へ通報出来る「110番直結非常通報装置」を設置している。又、さすまたの使い方等の訓練、職員が不審者になり子ども達との対応訓練。
- ・園の施設・設備・遊具等の安全点検を週番が毎日確認し、改善している。
- ・砂場も月1回消毒している。
- ・アレルギー疾患の理解とアレルギー疾患のある子どもを把握し、特に食物アレルギーのある子どもには保護者に詳しい情報の提出を求め、教職員で把握できるようにしている。
- ・学校薬剤師を配置し、一般的な環境衛生に関する指導、騒音や照明の明るさの検査、医療品の管理、教室の空気、水泳用プール、飲料水、給食施設の水質などの検査をする。園児の快適な幼稚園環境をつくるために、指導助言をいただいている。
- ・給食施設についても、衛生面に気をつけてもらい、専門業者に点検を依頼している。

(9) その他

- ・特別支援教育・・・特別な支援を要する子どもにその特性を踏まえた十分な幼児教育を受けられるよう配慮して、担任だけでなく、全職員が支援する体制を整えて取り組んでいる。又、特別支援教育士の資格を令和2年にとった職員が先生達に分かりやすく解説した「こんぺいとうだより」を発行し

てくれています。大変勉強強くなっています。各クラスには何人かの気になる子がいますがみんながその友達に対する関わりのなかで思いやりの心をはぐくみます。

- ・人権研修…園長が講師となり、差別・人権問題の話を行いました。その中で「利他」という言葉が最も心に残りました。わかりやすい堅苦しくない講義でした。
- ・研修…体育講師とび箱、鉄棒、マット運動、ボール遊び、逆上がりの補助の仕方など技術向上の指導と安全面の配慮を学ぶ。

音楽講師（4回）奥原先生の指導

「全体の先生への指導」

- ・楽しみながら演奏することが一番。
- ・歌詞の意味を考えるように。
- ・発表会は心配な事はあるが子ども達のことを信じましょう。
- ・ほめてもらった事は子ども達に話し本番への意欲、自信につなげていく。
- ・自分の伴奏で子ども達の歌が台無しにならないよう万全の準備をする。
- ・子ども一人ひとりの表情をみて全員にわかる合図をして心を通わせるという意識で指揮をする。

する。

- ・保育見学…7月から2月にかけて、教員による全クラスの保育見学を実施した。自分のクラスの子どもを他の先生に見てもらうことで、違った見方が出来、先生と子どもの成長につながっていく。お互いに勉強して、子ども達が楽しく保育を受けられるように努めている。
- ・食育…自園での給食が始まり、おいしくいただいています。ある園児はお家で給食みたいなのを作ったと言って母親に作ってもらったと聞いてよかったと思いました。学校給食の充実「生きる力」を育む食育の推進。2年度はバイキングもなしだったが自分でトッピングするアイスクリームが出たので、よろこんでいました。毎月1回河北食品の栄養士、調理員と当園の教頭、担当事務員とで給食会議を開き、おいしい物が提供できる様に意見を言い工夫してもらっています。

- ・まつっこタイム…年3回 276名、少人数で

手形アート

フットサル

ウォークラリー（雨の為中止）

まつっこオペレッタ（先生方の好演に大好評）

- ・歌おう会…お母さんたちが歌う歌をクリスマス会、お別れ会にマスクして人数制限をして歌い子どもたちを楽しませてくれた。

3 財務の概要

(1) 決算の概要

- ① 貸借対照表の状況と経年比較

	令和2年度	令和1年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
固定資産	755,421,791	751,731,862	582,828,389	648,996,693	636,713,826
流動資産	140,953,927	257,150,350	154,553,085	61,376,614	67,233,939
資産部の合計	896,375,718	1,008,882,212	737,381,474	710,373,307	703,947,765
固定負債	0	0	0	0	0
流動負債	6,598,551	142,890,522	11,624,199	8,143,508	1,149,242
負債の部合計	6,598,551	142,890,522	11,624,199	8,143,508	1,149,242
基本金	968,160,571	945,801,459	673,179,618	679,040,786	677,410,458
繰越収支差額	△ 78,383,404	△ 79,809,769	52,577,657	23,189,013	25,388,065
純資産の部合計	889,777,167	865,991,690	725,757,275	702,229,799	702,798,523
負債及び純資産の部合計	896,375,718	1,008,882,212	737,381,474	710,373,307	703,947,765

② 資金収支計算書関係

収入の部	令和2年度	令和1年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
学生生徒等納付金収入	16,249,010	72,042,360	49,279,650	50,120,250	53,602,500
手数料収入	97,000	131,000	149,000	114,000	114,000
寄付金収入	712,710	588,000	530,000	724,000	315,000
補助金収入	227,490,284	222,344,602	58,627,300	102,980,300	104,007,209
資産売却収入	10,824	0	0	650,540	0
付随事業・収益事業収入	6,453,969	7,240,982	6,396,175	6,433,638	6,659,779
受取利息・配当金収入	204,740	7,902	7,827	23,613	71,887
雑収入	3,520,765	1,549,163	10,795,342	6,092,416	2,119,845
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	0	0	0	0	0
その他の収入	270,859,052	216,583,275	194,106,534	102,522,584	90,259,978
資金収入調整勘定	△ 9,092,850	△ 138,925,990	△ 52,060,700	△ 4,478,425	△ 806,250
前年度繰越支払資金	118,136,819	102,011,343	56,004,826	65,122,005	65,670,490
収入の部合計	634,642,323	483,572,637	421,780,354	330,304,921	322,014,438

支出の部	令和2年度	令和1年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
人件費支出	140,860,733	97,100,080	111,052,060	100,459,538	95,027,855
経費支出	69,686,152	54,618,965	48,253,369	53,492,654	40,350,930
借入金当利息支出	0	0	0	0	0
借入金当返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	20,370,255	271,572,400	63,561,600	0	1,026,864
設備関係支出	8,621,781	4,276,786	1,162,058	6,032,558	10,961,728
資産運用支出	56,104,833	4,836	4,827	20,005,598	20,011,597
その他支出	217,361,848	80,783,953	107,103,040	102,393,701	91,052,561
資金支出調整勘定	△ 5,124,651	△ 142,921,202	△ 11,367,943	△ 8,083,954	△ 1,539,102
翌年度繰越支払資金	126,761,372	118,136,819	102,011,343	56,004,826	65,122,005
支出の部合計	634,642,323	483,572,637	421,780,354	330,304,921	322,014,438

③ 事業活動収支計算書の状況と経年比較

科 目		令和2年度	令和1年度	平成30年度
教育活動収支	事業活動収入の部			
	学生生徒等納付金	16,249,010	72,042,360	49,279,650
	手数料	97,000	131,000	149,000
	寄付金	712,710	588,000	530,000
	経常費等補助金	227,490,284	91,242,602	111,760,700
	付随事業収入	6,453,969	7,240,982	6,396,175
	雑収入	3,520,765	1,549,163	10,795,342
	教育活動収入計	254,523,738	172,794,107	178,910,867
	事業活動支出の部			
	人件費支出	140,860,733	97,100,080	111,052,060
	経費支出	85,750,146	666,569,503	60,022,829
	徴収不能額等	0	0	0
	教育活動支出計	226,610,879	163,669,583	171,074,889
	教育活動収支差額	27,912,859	9,124,524	7,835,978
教育活動外収支	事業活動収入の部			
	受取利息・配当金	204,740	7,902	7,827
	その他教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	204,740	7,902	7,827
	事業活動支出の部			
	借入金当利息	0	0	0
	その他教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額	204,740	7,902	7,827	
経常収支差額	28,117,599	9,132,426	7,843,805	
特別収支	事業活動収入の部			
	資産売却差額	0	0	0
	その他特別収入	0	131,102,000	44,811,000
	特別収入計	0	131,102,000	44,811,000
	事業活動支出の部			
	資産処分差額	4,332,122	11	29,127,329
	その他特別支出	0	0	0
	特別支出計	4,332,122	11	29,127,329
特別収支差額	△ 4,332,122	131,101,989	15,683,671	
基本金組入前当年度収支差額	23,785,477	140,234,415	23,527,476	
基本金組入額合計	△ 25,017,357	△ 272,621,841	0	
当年度収支差額	△ 1,231,880	△ 132,387,426	23,527,476	
前年度繰越収支差額	△ 79,809,769	52,577,657	23,189,013	
基本金取崩額	0	0	5,861,168	
翌年度繰越収支差額	△ 81,041,649	△ 79,809,769	52,577,657	

(参考)

事業活動収入計	254,728,478	32,618,991	223,729,694
事業活動支出計	230,943,001	12,063,406	200,202,218

4 今後の課題

- ・こども園に移行したので、保育者がたくさん必要となりその確保が大変でした。学生の減少の為でしょうか。次年度から早くから募集する。
- ・こども園になったら給料を上げられるという期待で1年目が始まりました。学年末にやっと処遇改善を頂き、長く働く先生（1年目の先生でも前の職場の年数もプラス）方にはかなりな金額をあげる事が出来ました。短い勤務年数の先生にはまだまだ満足できる金額を支給できませんでした。これからも長く意欲的に喜んで働いてもらえるためにも給料面での改善ができればと願っています。